

大阪文化芸術フェスが今年も開催



9月29日から11月4日にかけて、万博記念公園など府内全域で『大阪文化芸術フェス2018』が開催される。

同フェスは大阪府、大阪市、関西経済連合会や大阪商工会議所などで構成する「大阪文化芸術フェス実行委員会」が中心となって、万博記念公園や府内のホール、劇場などで、大阪が誇る上方芸能・上方演芸などをはじめ、音楽や演劇、アートなど、国内外のコンテンツをフェス期間内に集めて実施するもの。

大阪の文化芸術を楽しむ機会を創出するとともに国際エンターテインメント都市の実現を目指し、大阪の都市格の向上

を図って2025年国際博覧会の大阪開催につなげていきたいねらいだ。

昨年に続いて2度目の開催となる本年度は、大阪で結成され、30周年を迎えるウルフルズのコンサートをキックオフイベントとして行うことを決定した。

キックオフイベントはウルフルズ

5月21日、同実行委員会の記者発表会が行われ、ウルフルズと松井一郎大阪府知事が登壇した。

昨年に引き続き同フェスを開催するこ

と、また9月29日に万博記念公園もみじ川芝生広場で同フェスのキックオフイベント、「ウルフルズがやって来る!ヤッサ2018 ガッチューOSAKA」が行われることを発表。松井知事は「今年はウルフルズがいっしょに大阪のパワー、ガッツを見せよう」と参加してくれる、感謝している」と話した。

ウルフルズは、1988年に大阪で結成されるなど、大阪に深い縁がある。トータスは「サンコンは茨木、ジョンBは吹田出身



記者発表会の様子

で、僕は兵庫県の出身なんですけど、18歳の時に大阪へ出てきてみんなと出会った。大阪に育てられたので恩返しをしたいと思っていた。そういつたときにこのお話があったので、本当にありがたいと感謝しています」と述べた。

大阪文化芸術フェスの内容は公式ホームページ(<https://osaka-ca-fes.jp>)で確認できる。

【開催期間】2018年9月29日(土)～11月4日(日)
【会場】万博記念公園・大阪府内会場
【実施主体】大阪文化芸術フェス実行委員会(構成団体)
 大阪府/大阪市/公益社団法人 関西経済連合会
 大阪商工会議所/一般社団法人 関西経済同友会
 公益財団法人 大阪観光局/
 公益財団法人 関西・大阪21世紀協会
【問い合わせ】大阪文化芸術フェス実行委員会事務局
 (大阪府 府民文化部 文化・スポーツ室 文化課内)
 06-6941-0351(大阪府庁 代表)

「産・官・学・金」連携で地域活性化 岡山県鏡野町と茨木市をつなぐ



夢広場(茨木市東中条町7番)

茨木市に7月22日、岡山県鏡野町と茨木市の野菜が並ぶアンテナショップ『夢広場』がグランドオープンした。岡山・大阪間を結ぶ自社輸送便と小売経験があり、摂津市内に事業所を置くDAE株式会社、岡山県北部と北大阪をそれぞれ営業エリアとする津山信用金庫と北おおさか信用金庫、そして地域社会の活性化を学ぶ地域創造学部を持つ追手門学院大学とが「産・官・学・金」連携で行う地方創生事業だ。市民に安心・安全で新鮮な生鮮食品を食べてもらい、農業生産者の生産力向上と収入増加、ひいては育成や産業振興までも含めた地域活性化を図る。

「それぞれができることを」 “得意”を持ち寄り店舗運営

この事業は、北おおさか信用金庫職員に鏡野町出身者が在籍していた関係から始まる。鏡野

町と北おおさか信用金庫が新鮮な農産物をイベントではなく、常設店舗で販売する事業を企画していたところ、市内の農業生産者と商業事業者との農商連携に積極的に取り組んでいる茨木市と、一生産者でありながら品質管理のノウハウと農産物販売店舗立ち上げのサポート経験を持ち、岡山県の他生産者との人脈もある事業者DAEが参画。それに対して元々信用金庫と連携協定を締結していたアグリビジネス専攻の学生と博士を擁する大学が市場調査や事業計画策定、広告宣伝、店舗開店などに協力することが決まり今回のオープンに至った。今後は地域活性化に貢献する八百屋を目指して店舗を運営していく。



オープニングセレモニーの様子



販売商品は、岡山県鏡野町を中心とした産地直送の農産物や茨木市産の新鮮な野菜、鏡野町の米・餅・蜂蜜などの他、加工食品など多岐に渡る。

高槻に ソーシャルアパートメントがオープン

大阪初となるソーシャルアパートメント「TERMINALS(ターミナルズ)高槻」が10月にオープンする。ソーシャルアパートメントとは、賃貸マンション内にラウンジやキッチンなどの交流スペースを設けることによって、住人同士の自発的なコミュニティ形成を誘発する共同住宅のこと。近隣付き合いの希薄化が懸念されている昨今において、首都圏を中心に注目を浴びている新しい居住スタイルで、2015年に開業した関西初の「OTOWA神戸元町」はオープン後5カ月で満室、現在も常に入居待ちの状態という。運営は、首都圏を中心にライフスタイル事業を展開する株式

会社グローバルエージェンツ(本社:東京都渋谷区)。TERMINALS高槻は、JR「高槻」駅から徒歩5分、阪急「高槻市」駅から徒歩15分の場所に、旧企業寮の建物をリノベーションして誕生。大阪第2号として、茨木市にも来春オープンする。

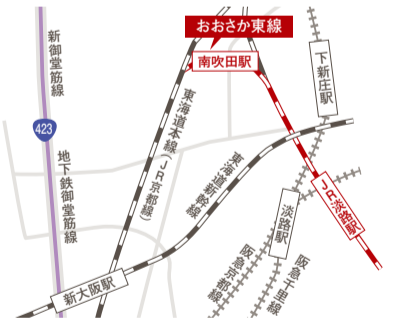


共用ラウンジの完成予想図。部屋は、1BR(ベッドルーム)が55戸設けられる。

吹田市に新駅誕生「南吹田駅」

来年春に全線開業を予定しているJR「おおさか東線」の北区間(新大阪駅～放出駅、11.1km)に新設する4つの駅名が決まった。北側から「南吹田」「JR淡路」「城北公園通」「JR野江」。同線は、大阪東部地域の鉄道ネットワークの充実を目的として整備が進められているもので、2008年に南区間(放出駅～久宝寺駅)が先行して開業。昨年度の利用者数は1日当たり5

万人で、全線開通によって約10万人の利用を見込んでいる。



二輪車による交通事故を防ごう

協力:大阪府警察



大阪府下の交通死亡事故のうち、二輪車事故は2018年7月末時点(速報値)で依然として約4割を占めており、最も多くなっている。

二輪車乗車中の交通事故のうち、交差点及び交差点付近での交通事故が最も多く、全体の約6割にも及んでいる現状だ。二輪車は、自動車と違って車体に守られていないため、交通事故に遭った場合、重大事故につながる危険性が高い。運転する際は下記の点に注意しよう。

- 速度を控え、しっかりと交差点の安全確認を
- 交差点を通過する際は、対向右折車両に十分注意を
- 万が一の事故に備え、ヘルメットだけでなく、胸部プロテクター等の着用を

2018年4月1日から「2018 OSAKA 二輪車セーフティチャレンジ」を実施(エントリー期間4/1～9/28、実施期間4/28～10/31)。二輪車利用者が無事故・無違反にチャレンジし、交通安全意識を高め、交通事故を防止することを目的としている。参加は無料。各警察署交通課で受付を行うとセーフティチャレンジシールを進呈。

9/21～30 「秋の全国交通安全運動」実施

【全国重点】

- 子どもと高齢者の安全な通行の確保と高齢運転者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止
- 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- 飲酒運転の根絶

【大阪重点】

二輪車の交通事故防止

「交通事故に遭わない、起こさない」を合言葉に、安全運転を。